

ふれあいバスの実証運行について

ふれあいバスの新設 2 ルートについて

新市基本計画の基本方針に基づき、「まちづくり拠点」を結ぶ、バス公共交通の強化を図る観点から、公共交通不便地域（六軒、発作下、荒野、竜腹寺）と需要が見込める地域（布佐、若萩、舞姫）を経由する運行ルートとして、2 ルートを選定する。

具体的な運行ルート等については、「ふれあいバスの実証運行業務委託に関するプロポーザル審査委員会」で選定された、実証運行の運行候補者の提案内容を基本として、関係機関、既存の民間バス路線等の運行を考慮して設定する。

1. 市役所～布佐～千葉NT中央駅間 の新設ルート

| | |
|------|-------------------------------------|
| 運行経路 | 印西市役所 — 木下駅 — 布佐駅 — 松山下公園 — 千葉NT中央駅 |
| 運行時間 | 7 時台～19 時台 （平日、休日同じ） |
| 運行便数 | 10 便 |
| 運行距離 | 約 13 km |
| 所要時間 | 約 50 分 |

【運行ルート設定の基本的考え方】

- ①旧市街地の木下駅エリアと新市街地の千葉ニュータウン中央駅エリアの地域拠点間の結びつきを強化するというまちづくりの基本方針や路線バスの木下線の廃止の経緯、そして六軒、発作下地区等の交通不便地域のカバーと需要が見込める布佐地区を経由する等を考慮する。
- ②ふれあいバスの西ルートは、現在、木下駅エリアと千葉ニュータウン中央駅エリアを結び、地域拠点、JRと北総線の鉄道駅間を結ぶ地域交流軸として、重要な役割を担い、利用者も多い。（西ルートの利用者は、1日当たり153人）
昨年実施した住民アンケートでは、木下駅エリアと千葉ニュータウン中央エリアを結ぶバスルートについて、多くの増便要望がある。

- ③我孫子市の布佐地区のルートについては、我孫子市の意向を考慮する。
布佐地区については、ジャスコやイオン等の多くのショッピングモールが集積する千葉ニュータウン中央駅地区への買い物需要が多く、同地区間を結ぶバス交通のニーズがかなり高い。需要が見込める布佐地区を経由し、我孫子市からの運行経費の負担を得て、経費の縮減を図る。
- ④市役所から布佐地区経由し、既存の西ルートと合流後は、西ルートと同ルート、バス停も供用する。
- ⑤速達性と効率性を考慮し、千葉ニュータウン中央駅への乗り入れは、駅北口とする。

【バス停設置の基本的考え方】

- ①鉄道駅の「木下駅」、「布佐駅」、「千葉ニュータウン中央駅」、最寄りにバス停がない「大森南」、「大森北」、布佐地区、「発作北」「発作中」、住民ニーズが高い「千葉ニュータウン中央北」等に、バス停を設置する。

【運行ダイヤ設定の基本的考え方】

- ①市役所発のダイヤについて、西ルートのダイヤと出来る限り均衡がとれるよう考慮する。
- ②第1便については、千葉ニュータウン中央駅から、我孫子東高校への通学対応を考慮する。
- ③各便の運行間隔については、原則、等間隔で運行することを前提とする。
- ④千葉ニュータウン中央北から市役所方面へのバス便について、西ルートより遅い時間帯の便を設定する。

2. 印旛支所～滝野～印西牧の原駅間の新設ルート

| | |
|------|--------------------------------|
| 運行経路 | 印旛支所 — 日医大 — 竜腹寺 — 滝野 — 印西牧の原駅 |
| 運行時間 | 8時台～18時台（平日、休日同じ） |
| 運行便数 | 14便 |
| 運行距離 | 約9km |
| 所要時間 | 約30分 |

【運行ルート設定の基本的考え方】

- ①印旛支所や日本医科大学千葉北総病院が立地する印旛日医大駅エリアと、住宅が集積し大規模な商業施設が立地する印西牧の原駅エリアを結ぶルートを設定する。
- ②昨年の住民アンケートによると、印旛日本医大駅エリアと印西牧の原駅エリア間の交流軸について、買物や通院といった目的の移動量が多く、また、これらを結ぶバス交通に関するニーズも高い。
- ③合併前の印西市、旧印旛村及び旧本埜村地域を結び、新市の一体的なまちづくりを支える交流軸を整備する。
- ④交通不便地域となっている荒野や竜腹寺地区を経由するとともに、若萩、舞姫、美瀬といった住宅が集積する地域を経由する。
- ⑤既存の民間バス路線との競合を出来る限り回避する。
滝野地区内を運行する北総交通バスとふれあいバスとの運賃格差を踏まえ、出来る限り路線競合を回避する。
北総交通バスでは、多くの市民ニーズを踏まえ、小林駅から印旛明誠高校のバスルートの支線として、今後滝野地区を循環するバス路線を計画している。

【バス停設置の基本的考え方】

- ①鉄道駅の「印西牧の原駅」、「印旛日本医大駅」、最寄りにバス停がない「竜腹寺」、「荒野」、住民ニーズが高い「印旛日本医大病院」等に、バス停を設置する。

【運行ダイヤ設定の基本的考え方】

- ①第1便について、印西牧の原地区等から日本医大病院への乗り入れ時間について考慮した。
- ②各便の運行間隔については、原則、等間隔で運行することを前提とする。

※新設ルートの運賃、車両

| | |
|----|---|
| 運賃 | 大人（中学生以上）100円均一 ※小学生・乳幼児・障害者手帳保持者及び介助者1人まで無料 ※ふれあいバスの各ルート間の乗り継ぎ無料 |
| 車両 | 小型車両（30人乗り程度） ※車両表示は、ふれあいバスであることがわかるように表示する。 ※パスモ、スイカ使用可 |

3. ふれあいバスの休日運行

| | |
|-------|---------------|
| 実施ルート | ふれあいバスの既設4ルート |
| 運行ダイヤ | 平日ダイヤ |
| 運行便数 | 各ルート 1日8～10便 |

※昨年度実施した住民アンケートでは、ふれあいバスの日曜・祝日運行の要望が約75%となっている。